



令和5年度 緑地区 幼保小教育交流事業活動報告

緑地区テーマ
『園生活から小学校生活への
スムーズな接続を図る』

緑地区実行委員会

《交流事業の特色》

【交流事業対象】

- 幼稚園 15園
- 保育園 45園
- 小学校 17校

▶ 緑区内を7ブロックに分け交流を実施

ブロックごとの職員の交流・研修の推進

リーダー、サブリーダー2名
幼保小のスムーズな連絡

▶ ブロックリーダー会議の活用

情報交換 = 活動状況の報告と研修内容の紹介

活動の活性化





《実行委員会》

- ▶ ＊小学校 1、幼稚園 2、保育園 4（公立 1、私立 3）
- ・今年度の方針
- ・年間事業計画の立案
- ・総会、報告会、保育参観、講演会の計画
- ・各ブロックの活動状況の把握と充実に向けた支援
- ・事業の振り返りとまとめ
- ・次年度への引き継ぎ



《令和5年度の活動》

- ▶ 6月 緑地区 総会・ブロック会議
- ▶ 6月～ 各ブロックごとの交流
- ▶ 1月 健やか子育て講演会（YouTube配信）
- ▶ 2月 ブロックリーダ会議 活動報告会・ブロック会議
- ▶ 総会

健やか子育て講演会



〔開催方法〕 YouTube配信（視聴178回）
令和5年12月21日(木)～令和6年2月23日(金)

〔対象者〕 幼稚園・保育園・小学校の保護者ならびに教職員

〔演 題〕 「あそびの中で子どもは育つ」
～『あそび』は様々な学びや育ちにつながっています～

〔講 師〕 田澤 里喜 氏
(玉川大学教育学部教授 東一の江こども園園長)





健やか子育て講演会



★視聴者の感想より

「あそび」に大切なことは、自主的で前のめりな姿勢。大人の働きかけを意識したい。自分自身の子育てを振り返るよい機会となりました。

「“遊ぶ”ことは、生きる力を育むこと」という言葉が印象的だった。「愛」と「肯定感」をもって、子どもたちが一步を踏み出せる環境を作りたい。

子どもの「やりたい！」という思いやサインを敏感に感じ取り、夢中で遊びこめるような支援をしていきたい。

何よりも生活や遊びの中で、子どもと一緒に「楽しいこと」を探して、見つけて、子どもと一緒に楽しんでいきたいと思います。

世間一般的には、「遊び≠学び」と分けて考えがちだが、遊びの中で子ども自身が意欲的に活動し、失敗や疑問を繰り返しながら経験を積み、次への意欲や自信をつなげていく過程に「学び」があることがわかった。経験は何一つ無駄でないと思った。

緑地区公開保育参観

〔Dブロック幼稚園〕

・10月19日(木)

9:30~

・参観風景

朝の「自由あそび」から、
「鼓笛フェスティバル」に
向けての練習風景、ク
ラスごとの活動などを
参観しました。



横浜マドカ幼稚園



《各ブロックごとの交流》

年長児と1年生の交流

① 公園で遊ぼう（園のお散歩コースの途中で...）



皆で元気よく「ミドリン体操」



大縄・しっぽ取り・ドンジャンケン・電車リレー・ミドリン体操・遊具遊び など

年長児と 1年生の交流

育てる時に気をつけることを教えてあげた方がいいね。



「ビッグブック(オタマジャクシの育て方)」プレゼント！
育てていたオタマジャクシが死んでしまった保育園。
たまたまそれを知った小学生の子どもたち。
「僕たちもオタマジャクシを育てているから、コツを教えてあげようよ。」そこからスタートした交流です。

② 子どもたちの発想から出てきた交流



ビッグブックありがとう。
保育園の子どもたち、とてもよろこんでいたよ！

③ 教科（国語）の交流

年長児と2年生の交流

★2年生 音読発表会

国語:『ミリーのすてきなぼうし』・2年生の国語の単元で音読発表会に年長児を招待。発表会后、図書室見学も！



お兄さん、お姉さんたち、
すごいな！



園児のみんなにも
わかりやすく読もう。



年長児と 1年生の交流

④ 学校紹介



年長さんが知りたいことや不安なことは何だろう？



小学校の机と椅子だよ。
座り心地はどう？

ランドセルも
背負ってみてね。



④ 教科（生活科）の交流

上手に転がしてね。



どんぐりゴマって
楽しいよ。

★どんぐりおもちゃを作った！
けん玉、めいろ、マラカス、つり、
ボーリング…

★保育園の子たちにも、秋の楽しさを
知ってもらいたい！実行委員を中心に
活動を創り上げました。



一緒にお絵描き
しよう。



⑤ 教科の交流



学校クイズを作ったよ！
できるかな？？？

年長児と5年生の交流



4月に笑顔で入学してきてね。
6年生になった私たちが
待っているよ。

職員同士の交流

「合同研修会」
目指す子ども姿、支援のときに気を付ける事などを話し合いました。



「保育参観」
小学校教員が、近くの保育園を参観に行きました。



職員同士の交流

「運動会練習参観」
普段の小学生の様子を参観



「幼保小 合同研修会」

- ① 保育園・幼稚園の先生方が
小学校の授業参観
・1、2年生の5校時授業参観
- ② 架け橋プログラム
デザインシートを使った
研究協議会

《各ブロックより》

今年度の成果



- ・少しずつ直接交流も増やしていくことができた。繰り返し交流することで、職員も子どもも互いの様子を知ることができた。
- ・普段の授業や活動の様子を参観する機会を設定した。日程調整もしやすい。
- ・目的意識や相手意識をもって交流することで、子どもたちの学びが深まった。子どもの主体的な活動が見られた。
- ・1年生は、園児と交流することで自分の成長を感じることもできた。振り返りの中でも自己肯定感の高まりが感じられた。
- ・小学校の様子を知ることができ、園児が小学校入学に期待を膨らませ、楽しみにする姿が見られた。保護者も喜んでいた。

《各ブロックより》

課題・次年度に向けて

- ・小学校職員と園児。園の職員と児童が交流する機会があるとよい。
園児にとって小学校は憧れの場所。教員と関われると喜ぶ。
- ・交流を深めるために、年度末の引継ぎをしっかりと行いたい。
- ・ブロックによっては、園と学校が遠いところもあり、直接交流が難しい。
- ・職員の交流をもっと深めていきたい。
(保育参観、授業参観、職員研修、行事参観、園長・校長会など)
- ・「架け橋プログラム」についても研修を深め、園から接続した児童観を大切にしたカリキュラムづくりに生かしたい。



《来年度に向けて》



育ちと学びのスムーズな接続をめざして

架け橋プログラムの実践
に向けて

ブロック活動の充実

園長校長会の
あり方

園と校のつながり

ブロック規模の見直し

職員研修の充実

実行委員の引継ぎ（幼稚園と保育園で
2年サイクルをずらすなど）

ブロック内の引継ぎ